

## ボツワナ共和国月報(2021年4月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 非常事態再延長
- 夜間外出禁止及び集会禁止の延長
- 2019年犯罪統計

#### 【外政】

- マシシ大統領のザンビア実務訪問
- マシシ大統領のエスワティニ実務訪問

#### 【経済】

- 2019年第4四半期の鉱物生産者物価指数(PPI)
- デビアス社のボツワナでのダイヤモンド生産量と売上げ
- ボツワナ、格付けが「A2」から「A3」へ
- 2月の輸出額、1月より減少
- 運輸交通統計

#### 【内政】

##### ○非常事態再延長

先月31日の国会にて、ボツワナ政府は、非常事態を9月30日までの6か月間延長することを決定した。

##### ○夜間外出禁止及び集会禁止の延長

1日、ボツワナ政府は官報にて、同日から9月30日までの間、午後8時から午前4時の間を外出禁止とした他、同期間中、一部をのぞいた全ての集会を禁止にした。また、12日、ボツワナ政府は報道発表を発売し、同日から夜間外出禁止時間を午後10時から午前4時の間に変更すると発表した。

##### ○2019年犯罪統計

2019年の犯罪認知件数は、9,499件で2017年の6,830件、2018年の8,262件から、増加傾向にある。盗難が2,623件、脅迫・暴行・嫌がらせが1,479件、性犯罪は1,207件、殺人が799件であった。

#### 【外政】

##### ○マシシ大統領のザンビア実務訪問

先月31日、マシシ大統領はザンビアへ日帰り実務訪問を行い、ルング・ザンビア大統領と会談した。両国首脳は、ザンビアとの外交関係を強固にするため、共同常任委員会(JPCC)を設立することに合意した。また、カズングラ橋の運用に向けた既存の

問題の終結及び橋梁当局の設立を約束した。

#### ○マシシ大統領のエスワティニ実務訪問

6日、マシシ大統領はエスワティニへ実務訪問を行った。マシシ大統領及びムスワティ三世国王は会談を行い、人的資本の交流、保健及び教育における協力などを含めた様々な問題について議論した。

### 【経済】

#### ○2019年第4四半期の鉱物生産者物価指数(PPI)

2019年の第4四半期のPPIは、第3四半期比で11.3のマイナスとなり、年平均では、前年比17.7のマイナスとなった(2017年を100とする)。約95%のウェイトを占めるダイヤモンドのPPIが2017年比で73となったことが大きい。他の鉱物のウェイトは石炭で約1%、金で約1%、苛性ソーダで約2%、塩・石類で約1%。

#### ○ボツワナ、格付けが「A2」から「A3」へ

ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)は、ボツワナの2021年ソブリン格付けの見直し結果を発表し、国内・外貨建て長期債のソブリン格付けを「A2」から「A3」に引き下げた。格下げの理由は、COVID-19パンデミックの影響で、政府が将来のショックを吸収する能力が低下しているためで、また経済の多様化が進んでいないことを反映し財政健全化には持続的な課題があると指摘した。また、S&Pグローバル・レーティングス(S&P)は、ボツワナの2021年ソブリン格付けの見直し結果を発表し、ボツワナの長期・短期の外貨建ておよび現地通貨建てのソブリン信用格付けを「BBB+/A-2」に据え置いたが、COVID-19のパンデミックがボツワナにもたらすリスクを考慮し、ネガティブなアウトルックを維持した。

#### ○2月の輸出額、1月より減少

2月の輸出額は6,330百万プラで、1月から27.1%減少した。輸入額は12.3%減少し、6,316.1百万プラとなった。主な輸出品目はダイヤモンドで輸出総額の93.2%を占めた。輸出手段は、空路が93.9%であった。主な輸入品目は、ダイヤモンド33.0%、食品・飲料・タバコと燃料は、各12.4%。主な輸入元は、南アフリカで55.3%。

#### ○運輸交通統計

空路での移動人数は、2019年の87,124名から2020年は21,263名に大きく減少した。2020年第4四半期における登録車数は、14,308台で新車登録は、18.2%、主な輸入元は日本から10,422台、南アフリカから2,477台、トヨタ車が45.8%、マツダ車が7.7%、日産が6.9%、ホンダ車は6.6%。